7/12 令和７年度垂井町自主防災組織リーダー研修会を開催

文化会館大ホールで、自主防災組織の代表者を対象に研修会を開催しました。岐阜協立大学准教授小野悟さんを講師に迎え、「災害時に必要とされるこころのケア」とテーマに講演をいただきました。
小野さんは、災害時に正常性バイアス（偏った考え、思い込み）が働く可能性や、発災直後のストレス反応など、災害前後の心理状況やその対応策などについて話されました。
災害時には、身体の安全だけではなく心のケアも重要です。災害時に働く心理を理解することで、災害発生時の適切な避難行動や被災者に心理的安心感を与えることにつながり、自分自身や地域を守ることにつながります。

7/11 将来の“小中学校のあり方”を研究

垂井町の児童生徒にとって、よりよい教育環境を考える「第１回垂井町立小中学校あり方研究会」を、岐阜大学教育学部教育学研究科の原特任教授、小中学校長など14名により町役場で開催しました。町教育委員会は、今年度の児童生徒数1,839人が、2036年度には1,091人になると推計。研究会の会長の原特任教授は「子どもの数の減少や施設の老朽化は、どのまちも共通しているが、学校ごとに地域の歴史や地理的状況も異なることから、他の自治体での取組がそのまま垂井町には当てはまらない」と助言。「将来、垂井町の子どもたちに、どういう教育環境が望ましいのか、保護者や町民がどう望んでいるのか、このことを研究会の“足場”としていきたい」とまとめられました。研究会は、今年度３回予定しています。

7/27 コミュニティ助成事業 宝くじの助成金を活用してやぐらを整備

宝くじの社会貢献広報事業として、宝くじの受託事業収入を財源として実施している「コミュニティ助成事業」により、垂井地区連合自治会がアルミ製のやぐらと紅白幕などの夏祭り用備品を整備しました。
従来のやぐらに比べ軽量で、設置や片付けも容易なため、地域のみなさんの負担軽減にもつながります。

7/26 兵庫県三木市とのスポーツ交流会を実施

竹中半兵衛公ゆかりの地である兵庫県三木市とのスポーツ交流会を岩手小学校体育館で行いました。今年度は、三木市より三木市バレーボール協会少年部の子どもたちや指導者など40人を招待。垂井町バレーボールスポーツ少年団の子どもたちと一緒に竹中半兵衛公の墓所を訪れた後、交流試合を行いました。
参加した子どもたちは、暑さに負けず精一杯プレーし、スポーツを通じて親睦を深めました。

挑む　垂井から全国の舞台へ

東海中学校総合体育大会・全国中学校体育大会等

▶**出場校**／不破中学校
▶**出場競技**／弓道、水泳、バドミントン、バレーボール、剣道

エイジェックカップ　第56回 日本少年野球選手権大会（大阪府ほか）

岐阜青山ボーイズ所属
南谷夷吾さん（北中３年）

高円宮賜杯　第45回全日本学童軟式野球大会　マクドナルド・トーナメント（新潟県）

多賀少年野球クラブ所属
小田悠陽さん（垂井小６年）

全国高等学校総合体育大会　全国高等学校定時制通信制体育大会

左から

種目	氏名（学校名）
陸上競技	中澤亜美さん（済美高２年）
体操	林英里佳さん（大垣商業高２年）
フェンシング	平墳葵温さん（大垣南高１年）
卓球	小川沙羅さん（華陽フロンティア高３年）
競泳	奥地暖空さん（大垣商業高２年）
競泳	岩田昊虎さん（大垣商業高１年）

ガンバレ！スポ少　垂井町柔道スポーツ少年団

武道である柔道は、「精力善用」「自他共栄」の精神のもと、挨拶、仲間への声掛け、支えてくださる人への感謝の気持ちをもって、日々練習に励んでいます。
小学生から中学生まで、仲間を励ましながら楽しく練習をしています。
いつでも見学、体験は大歓迎です。お待ちしております。

▶**練習日**／水曜日　午後７時～８時30分
　　土曜日　午後６時～８時
▶**場　所**／不破中学校格技場

問 スポーツ少年団本部事務局（生涯学習課内）　☎22-1154